

| 所属 | 看護医療学部 看護学科 | 職位 | 講師 | 氏名(学位) | 吉川 尚美 (修士(看護学)) | |
|-----------------------|---|----------|----------|------------------------|---|--------------|
| 所属学会 | 日本看護科学学会 日本看護学教育学会 日本クリティカルケア看護学会 日本看護診断学会 日本看護医療学会 | | | | | |
| 専門領域 | 成人看護学 | | | | | |
| 研究テーマ | クリティカルケア看護に関する研究 臨床判断に関する研究 看護教育に関する研究 | | | | | |
| I 主な教育活動 | | | | | | |
| 教育実践上の主な実績 | | | | | | |
| 1 教育・内容の工夫(授業評価等を含む) | 講義では、パワーポイントを用いて画像を多く活用し講義内容の理解の促進のための工夫を行っている。さらに、講義後のリアクションペーパーを活用し学生の理解度を確認し、以降の講義内容の改善・工夫を行っている。 | | | | | |
| 2 作成した教科書、教材、参考書 | 2年次の成人慢性期援助論Ⅰ・Ⅱ、成人急性期援助論Ⅰ、3年次の成人急性期援助論Ⅱの講義演習用教材として、事前・事後学習課題資料やハンドアウト資料、パワーポイント資料などを作成し配布している。 | | | | | |
| 3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等 | | | | | | |
| 4 その他教育上特記すべき事項 | 学生ボランティアと共に、菟野町の「健康と福祉のフェスティバルけやきフェスタ」「ウォーキング大会」「竹永ふれあいまつり」などのイベントに参加し、ウォーキングやクイズラリー、メッセージカード作りを通して、学生の地域活動を支援している。 | | | | | |
| II 主な研究活動 | | | | | | |
| 種別 | 著書・論文等の名称 | 単著 共著 | 発行年月 | 発行所、発表雑誌(および巻・号数)等の名称 | 編者・著者名(共著の場合のみ記入) | 頁数 |
| 著書 | 出題基準平成30年版準拠2020年 出題傾向がみえる成人看護学 | 共著 | 2020年2月 | PILAR PRESS | 編者 大川明子 著者 小寺直美, 豊田妙子, 藤井夕香, <u>吉川尚美</u> , 小林奈津美 | 32頁～ 237頁 |
| 学術論文 | パートナーシップ・ナーシング・システム(PNS®)に関する研究内容の概観 | 共著 | 2017年12月 | 日本看護医療学会雑誌(第19巻, 第2号) | 中神克之, <u>吉川尚美</u> , 小寺直美, 古田知香, 川島佳那, 山内豊明 | 52頁～ 59頁 |
| 学術論文 | ICU看護師が清潔ケアを実践する際の臨床判断の特徴ー心臓血管外科手術後患者への清潔ケアに着目してー | 共著 | 2019年11月 | 日本クリティカルケア看護学会誌(第15巻) | <u>吉川尚美</u> , 杉崎一美 | 89頁～ 100頁 |
| 紀要 | 講義からアクティブラーニングへの転換ー双方向型授業に向けての環境整備とその活用ー | 共著 | 2018年3月 | 四日市看護医療大学紀要(第11巻, 第1号) | 杉崎一美, 後藤由紀, 別所史子, <u>吉川尚美</u> , 萩典子 | 27頁～ 34頁 |

| 種別 | 著書・論文等の名称 | 単著 共著 | 発行年月 | 発行所、発表雑誌（および巻・号数）等の名称 | 編者・著者名（共著の場合のみ記入） | 頁数 |
|----|----------------------|----------|---------|--------------------------------------|-------------------------------|-------------|
| 紀要 | 応急手当ができるバイスタンダーになろう！ | 単著 | 2019年3月 | 四日市看護医療大学紀要（第12巻，第1号）看護研究交流センター実践報告書 | 吉川尚美，春名誠美，小寺直美，野内香純，野田朋美，渡辺正生 | 44頁～ 45頁 |

Ⅲ 主な学会活動

| 発表(報告)名等 | 単独 共同 | 発表年月 | 学会名等 |
|---|----------|----------|--------------------|
| 急性期病院における脳血管障害患者の職場復帰に対する看護師の認識とその看護支援 | 共同 | 2016年12月 | 日本看護科学学会 第36回学術集会 |
| 「直腸癌で人工肛門造設術を受けた患者に対するストーリーマキア」の授業にチーム基盤型学習法(TBL)を試みて | 共同 | 2018年8月 | 日本看護学教育学会 第28回学術集会 |

Ⅳ 社会における主な活動

| 活動期間 | 活動内容等 |
|-----------------|---|
| 2015年8月～現在 | 応急手当普及員資格を有し、普通救命講習の指導員として活動 菰野応急手当普及員の会に所属し、スポーツ大会の救護活動やイベント等における救命普及活動 |
| 2016年4月～現在 | 本学の地域研究機構看護研究交流センター「地域住民の健康づくりプロジェクト」における菰野町での活動と、菰野町地域連携協定協働事業への参加 |
| 2016年9月～現在 | 防災士資格を取得、居住地域の防災訓練等での防災教育活動 |
| 2017年4月～現在 | 本学の地域研究機構看護研究交流センター「応急手当ができるバイスタンダーになろう」プロジェクト責任者として活動 |
| 2017年4月～2019年3月 | 本学の地域研究機構看護研究交流センター「災害支援教育プロジェクト」メンバーとして活動 |
| 2017年8月～現在 | 地域の自治会や老人会など救命救急に関する講習、夏休み子どもラジオ体操&お話し会での応急手当や防災に関する講演活動 |
| 2018年4月～現在 | 本学の地域研究機構看護研究交流センター「YNMGネットワーク」プロジェクトのメンバーとして活動 |